

【技術分類】 3－4－3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3－4－3－1 回転体

【技術内容】

パチンコ機で用いられる回転体と称される役物は2種類に分類される。1つは主に玉の振り分けを行うために用いられる回転体で、もう一つは権利モノタイプで用いられるアタッカー開放の基点となる回転体である。

共に回転体と称されるが、便宜上、本標準技術集においては、玉の振り分けを行う回転体を「回転体」、アタッカー開放の起点となる回転体を「アタッカー開放用回転体」と表記する。

1.回転体

玉の振り分けを行う回転体は、2つ以上のポケットもしくは穴があり、特定箇所の穴に入れば特賞発生、もしくはデジタル変動（何らかの抽選が行なわれる）となる場合が多い。

回転体を用いる特徴としては、デジタル抽選とは異なり、抽選過程（玉の振り分け）をプレイヤーが見ることによって確認できる点にある。

一方、回転体による振り分けは、台による個体差が生じたり、磁石や台を叩くことによって特賞発生率を高める通称「ゴト行為」に弱いというデメリットもある。現行機ではゴト対策として、振動センサーや磁石センサー等を取り付ける台が増えてきている（4－4－2－1：センサー参照）。

【図 1】 回転体の初期搭載機



出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：200頁

【出典機種】

バレリーナ：株式会社平和

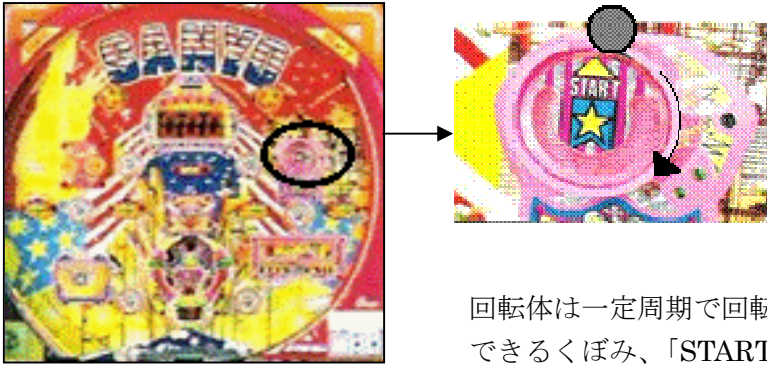
2.アタッカー開放用回転体

アタッカー開放用回転体は、次ラウンド開始の起点となる補助装置で、1991年にリリースされた「ニューヨーク」（三洋）に初めて搭載された。

それまでの権利モノでは特定の入賞口へ玉が入賞することによって、アタッカーが開放する仕組みであったが、2個以上の重複入賞によるラウンドロスや、入賞しづらい場合の大当たり消化の間延びや出玉減などが生じやすく、獲得出玉と消化ラウンド数が不安定になりやすいデメリットがあった。

しかしながら、アタッカー開放用回転体を用いることにより、ラウンドロスの防止とラウンド間隔の固定化が図れ、安定した出玉を獲得できるようになった。

【図 2】 アタッカー開放用回転体の初期搭載機種



回転体は一定周期で回転しており、回転体上部には玉を貯留できるくぼみ、「START」表示の矢印部分に玉が落下する穴を配置。玉が穴に入賞すれば、次回のラウンドが開始される。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：200 頁を元に改変

【出典機種】

ニューヨーク：株式会社三洋物産

【参考資料】

刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、200 頁

刊行物名：「平成パチンコ大図鑑 777」、発行年月日：1994 年 12 月 17 日、著者：神保美佳、発行人：福田博人、発行所：株式会社白夜書房発行、226 頁

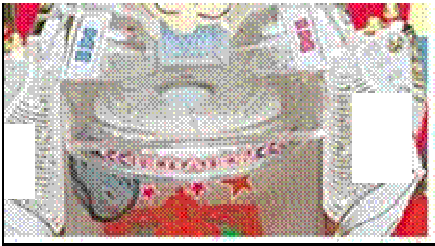
【技術分類】 3－4－3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3－4－3－2 クルーン

【技術内容】

穴が開いた皿状の役物をクルーンと呼ぶ。クルーンは穴の数によって、1つ穴、2つ穴、3つ穴などのタイプがある。クルーンは穴の数やクルーンの配置によっても役割が異なるが、1つ穴クルーンは玉が落下する時間の調整、2つ穴クルーンと3つ穴クルーンは玉の振り分けを行なう役割が主となる。特に3つ穴クルーンは権利モノタイプや普通機タイプで多く用いられている。代表機種としては、1989年に登場した「スーパーコンビⅡ」（三共）が挙げられる。

【図1】 1つ穴クルーンの搭載例



出典：奥村遊機株式会社ホームページ

関連箇所「トップページ＞機種紹介＞2005＞C R ひらけ！こぶ茶バンド＞詳しくはこちら＞たつまきすべりだい」

http://www.monako.co.jp/products/2005/details_fu/tatumaki.html

検索日：2007年1月18日

【出典機種】

C R ひらけ！こぶ茶バンド：奥村遊機株式会社

【図2】 2つ穴クルーンの搭載例



ステージの上部に2つ穴クルーンを左右2箇所配置し、落下する穴によって、始動口への入賞率が異なる。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：51頁

【出典機種】

C R ダンスミックス：マルホン工業株式会社

【参考資料】

刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、
発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、79 頁

刊行物名：「平成パチンコ大図鑑 777」、発行年月日：1994 年 12 月 17 日、著者：神保美佳、発行人：
福田博人、発行所：株式会社白夜書房発行、247 頁

【技術分類】 3－4－3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3－4－3－3 チューリップ

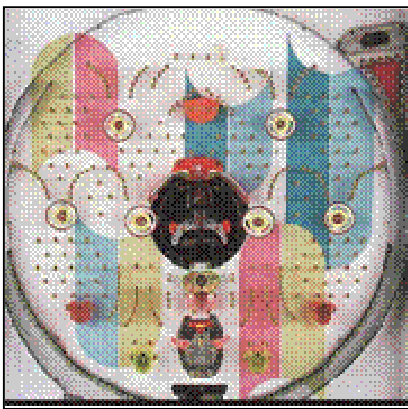
【技術内容】

玉の入賞によって開放し、次の入賞が容易になる小型役物のうち、チューリップの花の形をしている役物をチューリップ（チューリップ式役物）と呼ぶ。パチンコ 3 大発明の一つに挙げられており、現在でも普通機を中心に多く用いられている役物である。

チューリップは 1 個入賞毎に開閉を繰り返すタイプや複数個入賞するまで開放するタイプ、予め定められた時間開放を継続するタイプが存在する。また、チューリップの片側だけ開放する片開きチューリップやランプを搭載したランプチューリップなどのバリエーションもある。

チューリップを開閉させる構造としては、入賞した遊技球の重量によって機械的に開放するタイプ（メカ式）と、電動ソレノイドによって開閉動作を行うタイプ（電動式）とに大別される。

【図 1】 チューリップの初期搭載機



盤面中央下部にチューリップが配置されている。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：179 頁

【出典機種】

センターフラワー：株式会社大一商会

【図 2】 チューリップを多数搭載した普通機タイプの例



出典：パチンコビレッジ機種情報

関連箇所「トップページ＞パチンコ・パチスロ機種情報＞機種名検索（パチンコ）は行＞CR
チューリップ8」

<http://www.pachinkovillage.ne.jp/2001mac/tulip8/tulip8.html>

検索日 2007 年 1 月 18 日

【出典機種】

チューリップ8：株式会社ニューギン

【図 3】片開きチューリップの搭載機種と連動例



- 1.：アタッカー1に入賞させると、アタッカー2の開放抽選が行なわれ、当選すればアタッカー2が開放する。
 - 2.アタッカー2に入賞させると、アタッカー3の開放抽選が行なわれ、当選すればアタッカー3が開放する。
 - 3.アタッカー3に入賞させる。
- 以後、1～3を繰り返すことで、出玉を獲得する。
なお、当機のチューリップは「ラブリーチュー」とも称される。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '96」、発行年月日：1996 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：242 頁

【出典機種】

ハニーフラッシュ^{※1}7：株式会社西陣

※1「ハニーフラッシュ」：株式会社ソフィアの登録商標

【技術分類】 3－4－3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3－4－3－4 連動装置

【技術内容】

1回のチューリップ入賞で、他のチューリップを開放させるために用いられるのが連動装置である。連動装置は盤面上における複数のチューリップと繋がっており、連動の基点となる「親」チューリップに入賞した際に作動し、連動先となる「子」チューリップを開放させる仕組み。この連動装置は主に普通機タイプに搭載されており、特賞以外での一定の出玉を獲得する際にも用いられる技術である。また、1回の入賞で2個以上のチューリップを開放させる連動装置を搭載している機種も存在する。

チューリップの連動装置による出玉獲得時には、連動の基点となるチューリップに1回の開放で複数個入賞、もしくは連動の末端に位置するチューリップに規定個数以上入賞することによって、獲得出玉が増減しやすい。

【図1】 1回の入賞で3箇所のチューリップが開放する機能の搭載例



センター役物中央に入賞すれば
センター役物下部、盤面左右上部
の計3箇所のチューリップが開放する

出典：株式会社ニューギン、チューリップ8カタログ

【出典機種】

チューリップ8：株式会社ニューギン

【技術分類】 3－4－3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3－4－3－5 普通電動役物

【技術内容】

電動チューリップやミニアタッカーなど、大入賞口以外の電動役物で、主にサブデジタル（小デジタル）の抽選結果によって、作動する役物を普通電動役物と呼ぶ。

普通電動役物は主にデジパチタイプで用いられ、確率変動や時短中におけるベース維持が主な役割であるが、中には「C R 湘南爆走族^{※1}」シリーズ（大一）のように、複数段階での特賞抽選時のプロセス上に用いられる特殊なケースも存在する。

電動チューリップとミニアタッカーとは共に役割が共通しており、形状のみの相違となるが、概ね玉の拾いは電動チューリップのほうが優れている。

一方、普通電動役物の作動契機となる小デジタルの抽選結果は、メインデジタルとなる液晶画面内に表示される場合と 7 セグなどのサブデジタル上で表示される 2 パターンがある。

【図 1】 普通電動役物の例



出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 ‘98」、発行年月日：1998 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：143 頁

【出典機種】

C R ミルキーウェイ：株式会社サンセイアールアンドディ

【参考資料】

パチンコビレッジ用語辞典 電チュー項

関連項目「トップページ＞用語辞典＞た行＞電チュー」

<http://www.pachinkovillage.ne.jp/jiten/index.html>

検索日：2007 年 1 月 8 日

パチンコビレッジ用語辞典 ミニアタッカー項

関連項目「トップページ＞用語辞典＞ま行＞ミニアタッカー」

<http://www.pachinkovillage.ne.jp/jiten/index.html>

検索日 2007 年 1 月 8 日

※1「湘南爆走族」：株式会社大一商会の登録商標

【技術分類】 3－4－3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3－4－3－6 権利発生用入賞装置

【技術内容】

ハネモノや権利モノには大当たりの権利を獲得するための入賞装置が設けられている。ハネモノのセンター役物内や権利モノのアタッカー内に設けられた V ゾーンなどがこれに該当し、当装置の中に玉が入賞すれば大当たりとなる。

大半の機種では V ゾーンは 1 箇所のみ設けられているが、2 箇所設けられている機種も一部存在する。代表機種としては、2006 年にリリースされた「C R 志村ワールド」（三共）が挙げられる。また、「マジックカーペット^{※1} I」に代表される三共製の「カーペット」シリーズや「ファインプレー」（マルホン）のように移動式の V ゾーンを搭載している機種も存在する。

【図 1】 盤面上部に V ゾーンを搭載した例



多くの権利モノでは表示器の下部もしくは左右に V ゾーンを配置しているが、当機は上部に配置した例。

出典：（左、右）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '96」、発行年月日：1996 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：208 頁を元に改変

【出典機種】

横綱伝説：株式会社平和

※1 「マジックカーペット」：株式会社三共の登録商標

【技術分類】 3-4-3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3-4-3-7 Vゾーンへの誘導役物

【技術内容】

ハネモノタイプには、センター役物内に入球した玉をVゾーンへ誘導もしくは運搬する役割を有する役物を搭載している機種も存在する。誘導役物のバリエーションは非常に多彩で、機種の“顔”となっている場合も多く、シリーズ機を除けば、概ね機種ごとに異なる誘導役物が搭載されている。

誘導役物による玉の運搬及び誘導方式には大きく分けて、役物自身の動作によって、玉を誘導もしくは運搬するタイプ、回転体やローラーを用いたタイプ、磁石に玉を付着させて運搬させるタイプなどに分けられる。また、「マーメイドⅡ」（三共）などのように、羽根の開放パターンが変化することによって、Vゾーンへの誘導を促す機種も存在する。

【図1】オリジナル役物の動作による例1



ザルに乗った玉をVゾーンに向かって放り投げる動作によって、玉をVゾーンに誘導する。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：189頁

【出典機種】

安来名人：株式会社平和

【図2】オリジナル役物の動作による例2



縦に並んだ3匹のサルが下から上へ玉をリレーすることによって、Vゾーンへ誘導する。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：190頁

【出典機種】

もちあげ隊：株式会社西陣

【図 3】 磁石とローラー型役物の組み合わせによる誘導役物の例



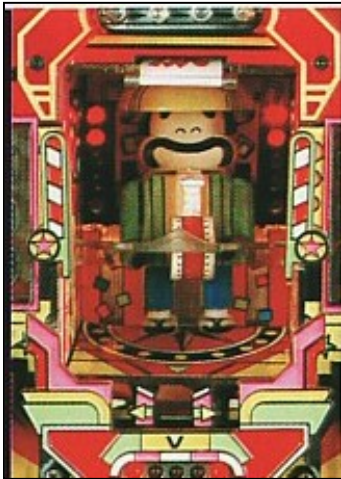
ローラーの磁石部分に玉が付着して、上部の左右に揺れる V ゾーンへ誘導する。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：236 頁

【出典機種】

ファインプレー：マルホン工業株式会社

【図 4】 羽根の開放時間の変化による誘導



ラウンド途中から羽根の開放動作がスローになり、V ゾーンへ入賞しやすくなる。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：188 頁

【出典機種】

ちんどん屋※1 P-2：株式会社西陣

※1 「ちんどん屋」：株式会社ソフィアの登録商標

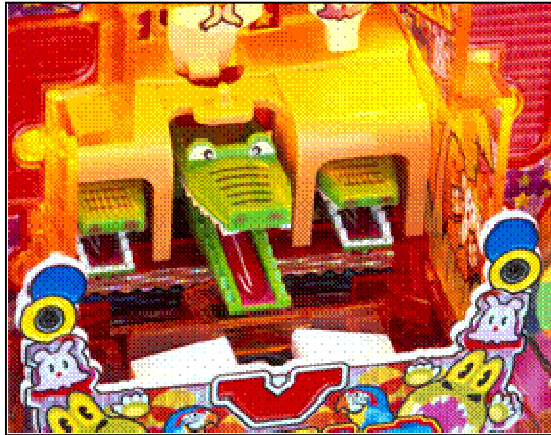
【技術分類】 3-4-3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3-4-3-8 可動物

【技術内容】

ハネモノタイプの中には、センター役物内にVゾーンへの入賞率に影響を与える可動物が配置されている機種もある。これらの役物はV入賞への補助、もしくは障壁となる役割が主となり、中には動作状態によって、補助と障壁の二面性を備えている場合も多い。これらの役物は周期的に稼動している場合が多く、通常中と特賞中で異なる動作を行なう可動物も存在する。

【図1】 V率に影響を与える可動物の例1



出典：株式会社ニューギンホームページ

関連項目「トップページ>機種紹介>2002年>ワニざんす^{※1}>POP素材ダウンロード」

<http://www.newgin.co.jp/pub/machine/wani/pop.html>

検索日 2007年2月10日

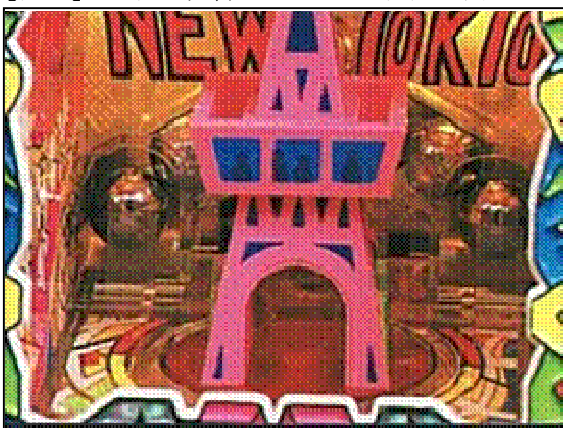
3匹のワニが常時前後に可動しており、玉がワニの頭上に落下した後にV入賞するなど、ワニの動作位置によって、V入賞率が変化する。

これらの役物により、イレギュラーなV入賞が見込める反面、中央のワニが奥に引っ込んでいる場合には、中央のワニの口から玉を排出した際、Vゾーンに蹴られるケースもある。

【出典機種】

ワニざんす^{※1}：株式会社ニューギン

【図2】 V率に影響を与える可動物の例2



タワー型の役物は常時回転しており、穴が手前に向いているときはV入賞をサポート、それ以外のタイミングではV入賞を拒む役割となる。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：198頁

【出典機種】

ニュートキオ：株式会社平和

※1「ワニざんす」：株式会社ニューギンの登録商標

【技術分類】 3－4－3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3－4－3－9 貯留役物

【技術内容】

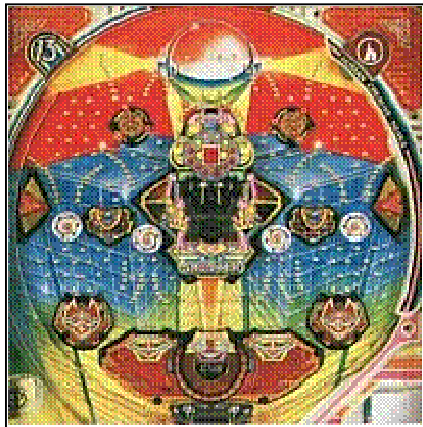
ハネモノなどのセンター役物内に玉を一旦留めておくことを「貯留」と呼ぶ。玉の貯留方式は大別して、役物内貯留と磁石貯留の２種類に分けられる。

貯留役物を初めて搭載したのは「ビッグシューター※1」（平和）で、以後ラウンド継続率をアップさせるために、様々な貯留役物が登場した。現行機ではラウンドが途中で終了するパンクという概念はないが（2－5－1－1：継続条件参照）、旧来のハネモノで採用された様々な役物が現行機にアレンジした形で採用されているケースも少なくない。

1. 役物内貯留

役物内貯留とは文字通り、特定の回転体やポケット、滞留場所などに玉を収納する貯留方式である。玉の貯留個数や貯留している状態によっても継続率が変化する場合もある。

【図 1】 初めて貯留機能を有したハネモノの例



玉が役物内に貯まっていき、貯留にあぶれた玉が中央奥の穴を通過すれば、Vゾーンへ入賞する。

出典：（左、右）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、
編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：188 頁

【出典機種】

ビッグシューター※1：株式会社平和

【図 2】 役物内貯留の例



「たぬ吉くん」のお腹部分のポケットに玉が入ると股下に玉が貯留される。京楽製ハネモノタイプで多用される貯留方法の一つ。

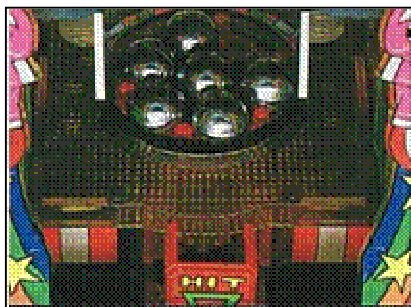
(C)KYORAKU

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：208 頁

【出典機種】

たぬ吉くん 2：京楽産業、株式会社

【図 3】回転体内の貯留例



回転体にストッパーが出現し、回転体上に玉を貯留。貯留が解除された後には一斉に V ゾーンに向かって転がる仕組み。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：198 頁

【出典機種】

サーカスⅢ：株式会社三洋物産

2.磁石式貯留

磁石式貯留は磁力によって玉を貯留する方式。磁石に付着する玉の個数や付着具合によっても継続率が異なる場合が多い。

【図 4】磁石式貯留の例 1



回転盤の上に磁石で玉を貯留する仕組み。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：188 頁

【出典機種】

ももたろう：株式会社西陣

※1「ビッグシューター」：株式会社平和の登録商標

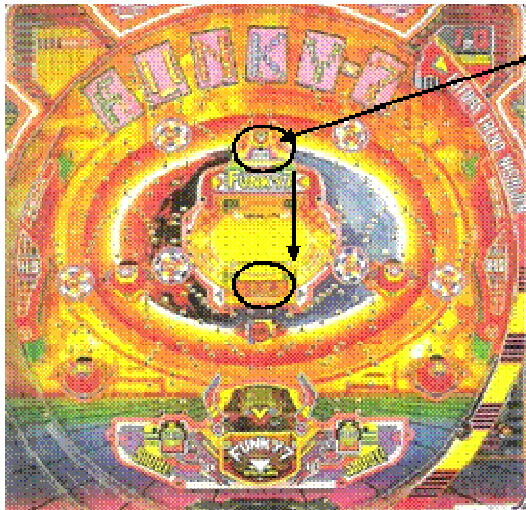
【技術分類】 3-4-3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3-4-3-10 ワープルート

【技術内容】

盤面上において、入球すると別の出口から玉が出てくる装置をワープルートと呼ぶ。現行機では主にステージへの誘導ルートとして用いられる。ワープルートの入口は主に液晶上部や左右部、出口はステージの左右もしくは始動入賞口の上部に設けられている場合が多い。どのようなルートを用いるかは設計的事項と判断される場合が多い。

【図 1】 ワープルート初搭載機



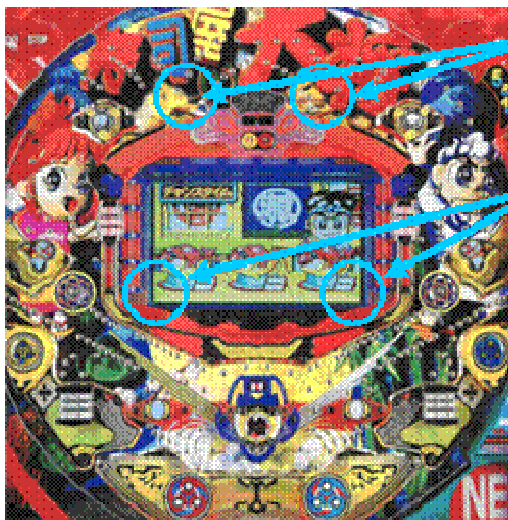
天穴下部から入賞した玉は、デジタル表示部分の裏を通過し、始動入賞口上部のステージへ誘導される。

出典：刊行物名：「平成パチンコ大図鑑 777 神保美佳著 パチンコ必勝ガイド編」、発行年月日：1994年 12 月 17 日、発行人：福田博人、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：35 頁 を元に改変

【出典機種】

ファンキー 7：株式会社西陣

【図 2】 天左右位置にワープルートの入口を配置した例



ワープルート入口

ワープルート出口

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：22 頁

【出典機種】

C R 寿司屋の大将^{※1}：株式会社三洋物産

【図 3】 左右独立型ワープの搭載例



左のワープは左側の始動入賞口、右のワープは右側の始動入賞口に対応している。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '97」、発行年月日：1997 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：26 頁

【出典機種】

C R 麻王伝説 E X：株式会社西陣

※1 「寿司屋の大将」：株式会社三洋物産の登録商標

【技術分類】 3－4－3 表示器関連／装飾・遊技補助／その他役物

【技術名称】 3－4－3－1 1 ステージ

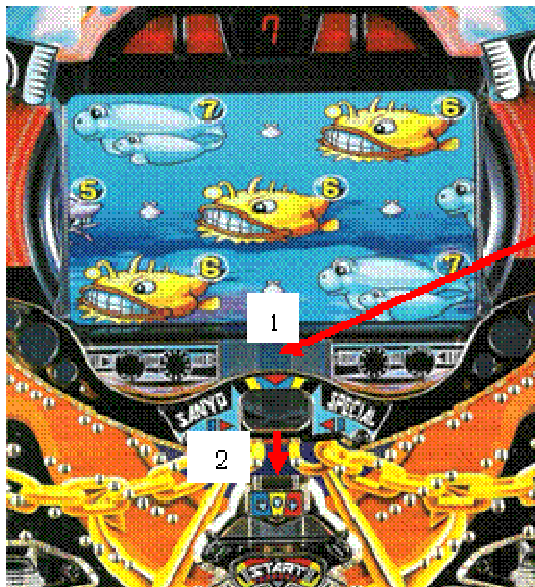
【技術内容】

主にデジパチタイプの液晶画面下に設けられ、始動口の入賞補助や玉の動きに変化を付けるための舞台役物をステージと呼ぶ。ステージはメーカーや機種によって、様々な形状が用いられているが、現行機では「CR海物語^{※1} 3」（三洋）に代表される波型が多く用いられている。

また、ステージの大きさや形状は表示器のサイズとも関連性があり、液晶画面や役物の大型化に伴って、ステージも大型化する傾向が見受けられる。このステージを設けることで、玉の動きに奥行きを持たせることができ、盤面上における玉の滞留時間の延長に貢献している。

なお、ステージは入賞補助の役割を担っているため、ステージ上には高確率で入賞する穴や溝が設けられている場合が多く、ステージ上における玉の動きにも様々な工夫が施されているが、細かな形状については設計的事項と判断される場合が多い。

【図 1】 現行機で多用される波型ステージ



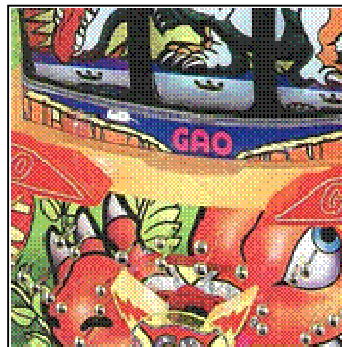
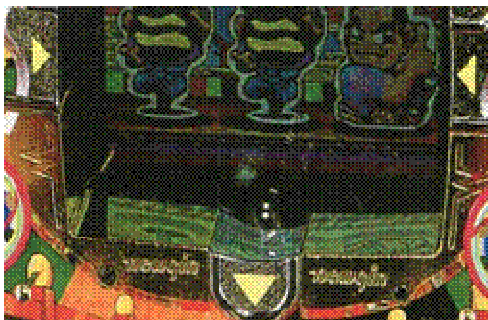
ステージ中央奥にある 1 の穴に玉が入ると
2 から排出され、高頻度で入賞する。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2000」、発行年月日：2000 年 2 月 11 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：142 頁

【出典機種】

CR 海物語^{※1} 3：株式会社三洋物産

【図 2】 中央に窪みを設けたシンプルな形状のステージ例



中央の窪みに嵌れば、
真っ直ぐ手前に転がり、
高頻度で入賞する。

(C)Sammy

出典：(左) 刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '98」、発行年月日：1998年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：139頁
：(右) 刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '97」、発行年月日：1997年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：43頁

【出典機種】

(左) CR大江戸日記^{※2}7：株式会社ニューギン

(右) CRガオガオキッズ4：サミー株式会社

【図3】ステージ上に可動式役物を搭載した例



ステージ上に突起のある回転体を設置したことにより、ステージ上の玉の動きに変化を付けることができ、様々な入賞パターンを生み出す。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：87頁

【出典機種】

CRワイルドスラッガー^{※3}：マルホン工業株式会社

【図4】ギザギザステージの例



玉が上段、中段、下段と段階的に振り分けられ、中央のギザギザ部分に嵌ると高頻度で入賞する

(C) モンキーパンチ／TMS・NTV

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：12頁

【出典機種】

CR不二子におまかせ^{※4}：株式会社平和

※1「海物語」：株式会社三洋物産の登録商標

※2「大江戸日記」：株式会社ニューギンの登録商標

※3「ワイルドスラッガー」：マルホン工業株式会社の登録商標

※4「不二子におまかせ」：株式会社平和の登録商標